



At the heart of the image

中高生フォトグラファー応援マガジン

TopEye

boys & girls photo magazine

No.282

2015
6-9



「ぼくたちの放課後」
熊谷 昇太

(宮城県白石工業高等学校 2年)

ガンバレ写真部!
楽しい中に闘志メラメラ!!
島根県立松江南高等学校

テーマ別に撮り方追求!
TopEye デジタル写真なるほど教室
第2回「夏の屋外」は光と影がポイント!

視想講座 VOL.276
「写真想像力」を鍛えて伝わる写真を
中井 精也

FRIENDS' EYE
「出張デジタル写真ゼミ」レポートや
写真部の活動紹介など盛りだくさん!

若者限定!

第63回ニッコールフォトコンテスト
第4部「U-31」部門 作品募集中!

締切間近!

Nikon College
ニコンカレッジ



審査員 小林紀晴
1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポータルに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。

これまでの自分を裏切ってさらなる挑戦を

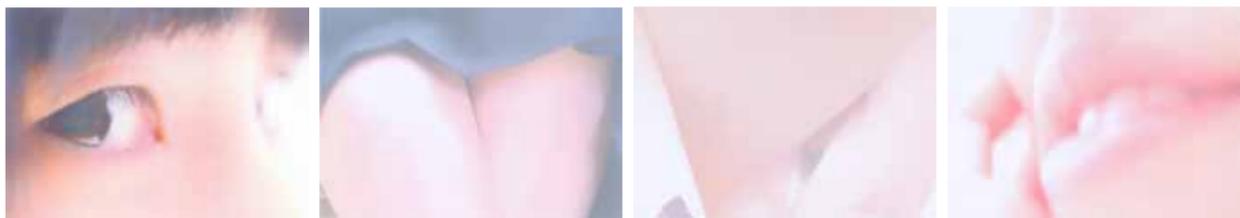
「フォトサロン」の審査員をやらせていただくようになって丸一年が経ちました。季節を一回りしたことで、応募される作品にどのような作品が多いのか、どのような傾向があるのかなど、おおよそ把握できました。きっと応募される側からしたら、私の選者としての傾向なども見えているのかもしれませんが。今回、印象的だったことがあります。学校によっては受け継がれた撮り方というものがあるのですが、それを見事に裏切った作品がいくつかあったことです。世代交代が感じられて新鮮でした。とても良いことだと思います。同じように、私自身も2年目は1年目のことをできるだけ裏切っていければと考えています。固定観念や定着した価値観に縛られないようにしたいという思いからです。皆さんも、できるだけこれまでの自分自身を裏切って、新たな世界に果敢に挑戦してみてください。



表紙に大きく載ってるよ!!

準TopEye賞

賞品
・ニコンデジタルコンパクトカメラ
・賞状



「17歳」足岡 桃実

島根県立松江南高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●40mm
●A オート (f/2.8) (4枚とも)
●ISO400 (4枚とも)

4枚の組写真です。ハイキーな露出、淡い色調で統一されています。そして、思い切って身体に寄っています。目、口を撮った2枚はかなりの接近です。そのことで人の肌、肉体といったものをより強く感じさせます。タイトルの通り、その年齢だけがもっている輝きや切なさのようなものを、ヒリヒリと感じさせます。



賞品
・ニコンオリジナルバッグ
・賞状

「Cherish」 内海 咲希

香川県立坂出高等学校 3年
●D80 ●AF-S DX18-55mm
●A オート (f/4.2) ●ISO400

校舎で友人を撮った一枚です。大胆に近づき切り取っています。光がきれいな写真です。きつとシャボン玉でしょう。友人の前でいくつも反射しています。そこにピントはありません。ピントは友人の口元でしょうか。でも口も顔も見えません。だからこそ、より想像が膨らみます。幻想的でエモーショナルです。



「春のおとずれ」 米田 知佳

大阪府立生野高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●S オート (6秒) ●ISO100

スマートフォン、さくらの花びら、指といった要素が一枚の写真のなかにあります。いまの高校生にとって、スマートフォンはなくてはならないアイテムでしょう。ただの機械などとは思えないはずですが、だからこそ、その中からこそ春がやってくるのかもしれない。そんなことに気づかせてくれた一枚です。



「幸せです!」 丹羽 涼風

愛知県立津島東高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●24-105mm
●M (1/200秒・f/5.6) ●ISO400

見事に決まったスナップ写真です。公園で声をかけて撮らせてもらったそうです。そのことにまず敬意を表します。とっさのタイミングのなかでもきちんと光を見えています。半逆光が効果的に効いて、立体感があります。顔に直射光があたっていないので、肌もきれいです。これからどんどんこんな素敵な写真を撮ってください。



「夢の中」吉本 七海

沖縄県立浦添工業高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●M (1/200秒・f/10) ●ISO1600

弟さんを撮ったとのこと。ということは自宅でしょう。最大の魅力は現実感です。すべての物が強い力を持って迫ってきます。どれも見慣れたものばかりだということに、それらの一部のように存在する寝姿。フラッシュの光によって浮かび上がっています。どこか暴力的でもあります。てらいのない撮り方が効いています。



「ぼくたちの放課後」熊谷 昇太

宮城県白石工業高等学校 2年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm ●A オート (f/7.1) ●ISO400

とてもカラフルな一枚です。黒板の脇に立てられたチョークだとすぐわかりました。タイトルの「ぼくたちの放課後」という通り、一本一本に個性があり、あたかもこちらに話しかけてくるかのようです。もともとは、どれも同じ形をしていたはずで、それが先生や生徒に握られ、こんな形に…。だからこそ、けなげで愛おしいのです。さらに見事なのは黒板に描かれたチョークです。逆光気味のなか、その質感がきれいに描写されています。

第175回 TopEye賞受賞 熊谷 昇太くん 受賞のコトバをどうぞ!!

TopEye受賞の知らせを聞いたときは、夢ではないかと顔をつねってしまいました。本当に最高の瞬間でした。この作品は私たちの放課後と同じように、一日の授業が終わった後のチョークたちの姿を写真におさめました。受賞するにあたって、今まで熱心に指導して頂いた先生と、協力してくれた仲間に感謝したいです。これからもこのような賞を頂けるように一生懸命写真を撮ってまいります。本当にありがとうございました。



「輝き」東 美緒

和歌山県立神島高等学校 3年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●P オート (3枚とも) ●ISO100 (3枚とも)

プール掃除をとらえたものです。この種の写真は珍しくないのですが、観たことのないものでした。デザイン的です。かたち、影をよく見えています。東さんはそれらにに興味を持っているのではないのでしょうか。スピード感もあります。何故かとても平面的に感じられます。それもまた魅力です。1枚目と3枚目はあまり色と動きがなく、2枚目だけ色と躍動感があります。そのコントラストもいいですね。

佳作

賞品
・オリジナルポーチ
・賞状



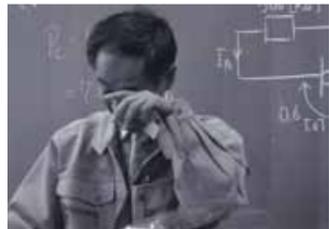
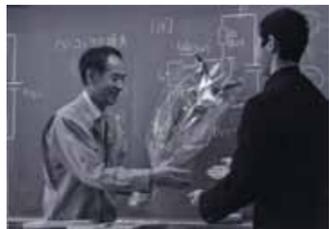
「魂胆」秋山 五朗

大阪府立成城高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ ●24-70mm
●M(1/250秒・f/5.6) ●ISO100



「おいてかないで!」久家 愛海

宮崎県立高鍋高等学校 1年
●D80 ●AF-S DX18-55mm ●M(1/800秒・f/5.6)
●ISO200



「たくましく生きる」鈴木 芯

福井県立丹生高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ
●16-135mm
●Sオート(1/125秒、1/160秒、1/125秒、1/125秒)
●ISO1000、1000、640、1000



「黄昏の俺」鶴見 和也

東京都・東亜学園高等学校 3年

●D5200 ●AF-S DX18-55mm ●Aオート(f/8) ●ISO100



「春の足音」駒形 朱音

新潟県立六日町高等学校 2年
●D3300 ●AF-S DX18-55mm
●Pオート ●ISO100



「迷い」浦田 怜那

熊本県・八代白百合学園高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm ●Aオート(f/3.5) ●ISO400

「感謝」神田 尚弥

北海道札幌工業高等学校 3年
●D7000 ●17-50mm ●M(1/125秒・f/2.8)(3枚とも)
●ISO200(3枚とも)



「消えた少女」小関 裕斗

東京都・正則高等学校 3年
●D90 ●AF-S DX18-105mm
●M(27.2秒・f/5) ●ISO200



「幻創神域」持田 健一

埼玉県立皆野高等学校 2年
●D800 ●AF-S 80-200mm ●M(1/500秒・f/9) ●ISO400

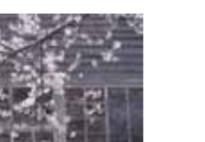
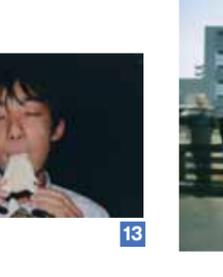
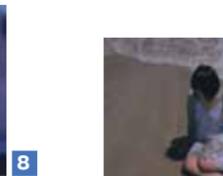
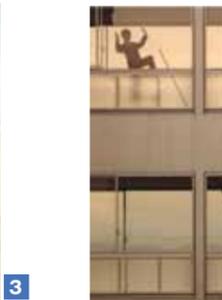
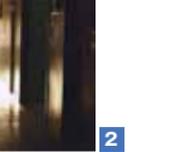


「明日を見つめて」石川 奈津美

長崎県・聖和女子学院高等学校 3年
●D5200 ●AF-S 50mm
●Aオート(f/9) ●ISO200

準佳作

賞品・賞状



- 「私 は …」 前川真奈美 香川県立坂出高等学校 3年
- 「光の彼方へ」 上山侑那 福井県立丹生高等学校 2年
- 「初めての新潟旅行」 青木江里奈 新潟県立六日町高等学校 3年
- 「いたずらの超越」 菊地麻里 宮城県白石工業高等学校 3年
- 「神隠し」 深澤友香 東京都立小石川中等教育学校 5年
- 「飛べるはず」 土田悠月 山口県立華陵高等学校 3年
- 「夜の体育館」 南 愛紀 和歌山県立神島高等学校 3年
- 「大きな一口」 佐藤時生 北海道札幌工業高等学校 3年
- 「渚にて」 楠元璃子 静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校 3年
- 「横断」 親 智昭 大阪府立成城高等学校 3年

- 「瓜二つ」 木下穂香 大阪府立生野高等学校 2年
- 「昼寝日和」 印南萌々花 茨城県立緑岡高等学校 2年
- 「やんちゃ坊主」 高坂圭人 新潟県・中越高等学校 2年
- 「記念撮影」 錦織由奈 島根県立安来高等学校 3年
- 「商店街の朝」 重永菜摘 山口県立新南陽高等学校 3年
- 「未知の世界へ」 三好卯乃 島根県立松江南高等学校 2年
- 「春だなあ」 石田亜希 熊本県・八代白百合学園高等学校 3年
- 「俺を見る!」 上川智雄 広島県立広島商業高等学校 2年
- 「聞かせて、あなたの話」 丹羽涼風 愛知県立津島東高等学校 2年
- 「喜怒哀楽(チアガール)」 小谷野奈緒美 埼玉県栄高等学校 3年

入賞ポイント

- TopEye賞 …………… 100ポイント
- 準TopEye賞 …………… 70ポイント
- 入選(5作品、うち組写真最大2作品) …………… 40ポイント
- 佳作(10作品、うち組写真最大3作品) …………… 20ポイント
- 準佳作(20作品) …………… 7ポイント

※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

裏表紙で各校の獲得ポイント発表!

ガンバレ写真部!!

2月の「TopEye全国高校生写真サミット2015」取材中、ある参加校の部員さんがドットとやって来て「ガンバレに出たいっ!」それが今回の島根県立松江南高等学校。「はい喜んで〜!」ということで、めでたく再会を果たしたサミット参加の皆さんに、入ってホヤホヤの1年生さんまで。元気な個性派の面々を楽しく取材してきました!

島根県立松江南高等学校



学校中庭の「だんだん広場」ポーズ。

最後列:八束さん、畑さん、岩田さん
2列目:竹本さん、榊山さん、榊田さん、田辺さん、福島さん
3列目:中島さん、吾郷さん、原さん、福岡さん、多根さん
4列目:田中くん、齋藤さん、三好さん、船岡さん、石倉さん
最前列:安藤さん、片寄さん、原田さん、足岡さん
その前:現・顧問の竹崎先生、元・顧問の江田先生

元・暗室はPC&プリンタールーム!!

部員: 26名+α (3年6名、2年15名、1年5名+絶対募集集中!)
活動: 平日は自主活動で撮影、レタッチ、プリントなど。近場での撮影会を月に1~2回。合宿は年2回、7月に県外、2月には島根県内の海岸。その他、地元の写真家を招いて講習会も。
機材: カメラは基本的に自分のものを使う。部に貸出用が4台。プリンター5台(うちA3対応1台)、パソコン4台。暗室はPCルーム化。でも引き伸ばし機2台あり。
部費: 生徒会からの8万円は大会用の作品づくりにほぼ出費。用紙は各自購入、インクは年に1人3,000円程度徴収して購入。

校外外に撮影スポットたくさん!

校門をくぐった第一印象が「わ、広い…」それに丘の斜面に位置するためか、校舎の構造はなかなか複雑で、面白い空間もちらほら。聞けばスポーツ部も盛んで、マネージャーを兼任して被写体探しの部員さんも。加えて地元には古事記や古墳時代ゆかりの遺跡に神社仏閣、それに伝統行事もたくさん。さらに合宿では他県や海に行くし、こりゃ撮れ撮れの毎日ですなあ。

夜の撮影が得意技!

- ・被写体の絞り込みができる
 - ・光を当てた物がグッと引き立つ
 - ・カメラや被写体を動かして実験的な撮影
- やればやるほどハマるのぞき!!

最近の実績

- ◎第171回フォトサロン入選!
- ◎TopEye全国高校生写真サミット2015 出場:北海道「写真の町」東川町賞受賞
- ◎本年度で全国高総文祭に3回連続出場!
- ◎月刊CAPA、アサヒカメラに2014年度5回入賞!
- ◎写真甲子園2013本戦出場!

「TopEye全国高校生写真サミット2015」出場に導いた江田先生の指導法とは?

1. まずは「撮る!」→30枚〜∞!
「家族」「身の回りの物」など身近なものから!
 2. 作品を見て次の課題を提案!
「次は寄り撮ろう」「後ろ姿だけじゃなく前から」「脱・日の丸構図」etc...
 3. コンテストは最初から挑戦!!
…2度出せない個人面談(笑)
- コメントは “step by step”

楽しい中に闘志メラメラ!!

ラップに水をかけてキラキラ効果!

赴任はやほやの竹崎先生!
「学生時代に生物学でマクロ撮影は経験あり。でもこれから勉強です」

「かわいい」「笑顔がすてき」

生徒の手

副部長の片寄さん!
人見知りだけど人が好き! 他の部員についてバチリ。

部長の足岡さん!
最近、人より壁を撮ってます(笑)

書記の安藤さん!
知らない子どもにも話しかけてバチバチ撮ります。

昨年度まで顧問の江田先生も遊びに来てくれました!

指で「NIKON」だって。ありがと〜!

1年生 入部したただけど、実力キレリ?!

中学時代からコンパクトで撮ってました。

父のフィルムカメラを使ってました。D5500は小さくていいですね。

シンプルなパターンの中に、微妙な違いを探します。

母や家族の日常を撮るのが好き。大事な記録でもあります。

カメラの使い方で、全然違った写真が撮れますね。

バスケット部の活躍ぶりを撮りたい!

お気に入りの被写体は海と風景と 이곳 (5歳&3歳)。

ズバズバ批評で伸びろ! 実力

レベルアップの秘訣を、部長さんに聞いてみました。「やっぱりたくさん撮って、たくさん観る、かな」そこへ「部長がズバズバ言うコメントが参考になる!」との声。部員さんは異口同音に「仲がいい」「みんな優しい」「リラックスできる」と部の良さを語ってくれましたが、どうやらそれがうまく作用して、意見を自由に言い合える「優しくズバズバ」な環境をつくっている様子。何でも言い合える関係って、いいよね!

個性いろいろ! おちゃらけ派から信念派まで!

一眼しつってカッコいい! 珍しい感じの写真を撮りたいです。

同級生をモデルにストーリーを考えて割り込みます。

動物の面白い動きを撮りに動物園に通います。

バレーボールを撮るのが好き。1点を争う心理戦にドキドキ。

計画通りの撮れ方、意外な撮れ方、どちらも楽しめます! 賞獲るぞっ!!

記憶に残らないものも写真には残せる。それがいいですね。

いい仲間は、いいライバル!

「実はみんな闘志もすごいんですよ」と部長さん。大会用の作品をチームごとにつくる時、隣のチームを見て「すごい! 負けたくない」とガンバったりして。先輩を差し置いて賞をゲットする気も満々で、対して上級生も「ホラホラそんなじゃ負けちゃうよ?」どうま〜火をつける。笑いの絶えない取材でしたが、ホンワカナだけじゃない。取材の最後にある部員さんが「トップアイ賞獲って、私がサミット行きますからね!」と宣言。闘志のかけらをメラッと見せてくれました!

友達、いつもと違う面を撮りたい。

兼サッカー部マネージャー

ピアノも得意!

石倉さん撮影

ご近所さんを撮りまくって仲良くなりました!

撮り方を考える楽しさ、それが成功する嬉しさ!

第2人が専属モデル。変顔でもなんでもやってくれます(笑)

撮る前に、コンセプトを熟考、夢の世界を表現してみたい。

福岡さん撮影

多根さん撮影

吾郷さん撮影

畑さん撮影

作品発表、技術習得の機会を充実

島根県高文連写真専門部事務局 江田修一

島根県高文連写真専門部では、6月と10月に写真コンクールを行い、その上位入賞作品による「県高校写真展」を、12月と2月に行っています。また、9月には東京工芸大学写真学科の先生方をお招きして講習会を開き、撮影技術や表現方法を学びます。現在、県内の写真部員数は約300名、コンクールへの出品数は2,000点近く。これからも、それぞれの写真表現を探求しながら、人として成長していかれることを願っています。

「ガンバレ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!!!
編集部が学校に行って取材します。

ご応募は、同封のアンケート用紙を使うか、P10の宛先へ!

TopEye デジタル写真教室

登場人物

夏休みを控えて、みんなの心はもう海や山に飛んでいるかな?もちろん写真部にとっても絶好の活動チャンス!日差しが強い夏は、光と影に着目すると面白い写真が撮れるのだ。ぜひ試してみてください。



今月のテーマは…

「夏の屋外」は光と影がポイント!

旅行先では何でも珍しく、目に付くものをバシバシ撮ってしまう。それもいいんだけど、ちょっと冷静に周囲を見極めて、効果的に見せることを考えれば、作品の魅力は倍増だ!!美しい南の島を舞台に、撮り方を勉強しよう!

今号の作例



[撮影データ]
●使用カメラ:D800E ●使用レンズ:AF-S 24-120mm ●焦点距離:24mm ●露出モード:絞り優先オート(f/11)
●露出補正:-0.3段 ●ISO:100 ●ホワイトバランス:オート1

砂浜の木陰が夏っぽいですよね~!

南の島って憧れ! 行きたくなっちゃうな~!

表現のポイント!!

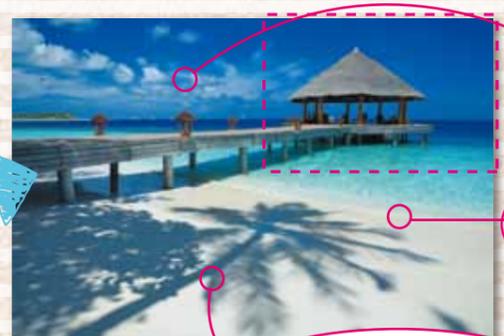
- Point
- 1 木のシルエットをクッキリ! → シャッターのタイミングに注意!
- 2 白トビに注意! → ハイライト部分を見極めて露出補正!
- 3 黒ツブレも防ぎたい! → 画像編集ソフトも活用しよう!

シャッターを切る前に…

周囲にある魅力的な「脇役」を探そう!



こうした場所では真っ青な海や空に目を奪われ、こんな写真を撮っちゃいがち!



夏っぽい雲の様子も見せたいね。

ビーチの白と波の色の対比も美しい。

背後のヤシの木の影が面白い! 人の影を入れてもいいかも。

How to 1

シャッターのタイミングを見極める!

屋外では、刻々と変わる要素がたくさんある。この作品では、ヤシの木陰がクッキリ見えるよう、波が引く瞬間を狙ってシャッターを切ったんだ。

ステキに撮れる一瞬を待つのも大事なのね!



波が影にかかるとぼやけてしまい、インパクトが薄れる。



波が引いた瞬間。影をクッキリ活かすことができた。

How to 2

白トビを防いで質感を出す!

夏の晴天は光のコントラストが強いため、最も明るいハイライト部分(この場合は砂浜と波)が「白トビ」を起こしがち。カメラの「露出補正機能」を使ってマイナス補正し、質感を残そう。

※カメラの機種によっては、「白トビ」部分をモニター上で表示できるよ。



砂浜と波の明るい部分が「白トビ」して、ディテールがわからない。



露出を-0.3段補正。微妙な色の階調が表現できた。

How to 3

ソフトを使って影の明るさを調整!

マイナス補正すると、影の部分が「黒ツブレ」…という場合もある。そんな悩みは、パソコンの画像編集ソフトである程度解決できるよ!ニコンが無料で提供しているソフト「Capture NX-D」もその一つ。ぜひ試してみてくださいね!

ニコンの無料ソフト「Capture NX-D」の画面



「トーン(ディテール)」アイコンをクリックし、「シャドウ」つまみを動かして、影の明るさを調整できるよ!*



露出補正の結果、桟橋の影が「黒ツブレ」気味になった画像。



「シャドウ」を明るくする調整により、影の部分も細部が見えるようになった。

*JPEG形式の画像でもある程度の調整ができますが、RAWデータ(ニコンの場合NEF形式)の画像ならより幅広い調整ができます。



こんな手もあるよ!

あえてハイキー調で撮る!

同じ場所でも、時間帯や露出の調整によって写真の印象は大きく変わる。たとえばこれは、同じ場所で早朝に撮影したもの。あえて露出をプラスに補正したハイキー調で、朝のすがすがしい感じを表現したよ。写真の撮り方は一つじゃない。いろいろ試してみてくださいね!

夏休みの撮影、光と影にこだわってみると面白いぞ。次回は夏休みも終わって秋! 涼くなった街に出て、スナップ撮影しよう。

講師/斉藤勝則





鉄道の持つロマン、安心感、そして旅情が表現できたお気に入りの一枚。

父が、本職の傍ら写真の店を開いたほどの写真好きで、小六の時にカメラを譲り受けました。中学、高校の電車通学をきっかけに鉄道にはまり、鉄道研究会で各地を取材旅行した少年時代。勉強も必死でやりましたよ。成績の維持が旅行やカメラ購入の条件だったので(笑)。

列車以外に興味があったのも、実は鉄研のおかげ。田舎の旅館のおばちゃんや泊まり客との交流などが楽しくてね。思い出深いのは三陸鉄道取材した時です。廃線するはずが第三セクター*として存続が決まり、地元の人々が嬉し泣きしていた。鉄道と社会の深い関わりを感じ、その頃から人も撮るようになりました。

あと、彼女が欲しかったことも大きいですね(笑)。仲良くなろうと写真を見せても、大体は「鉄道好きなのね」で終わり。ただ、きれいな風景や動物が写っていると反応がいいんです。そこで、女の子に「引かれない」撮り方を懸命に考え始め、これがその後の心なごむ鉄道写真「ゆる鉄」シリーズにつながっています。今年日本写真協会賞の新人賞をいただきました。特殊

なジャンルと思われてきた鉄道写真が大きく評価されたのはとても嬉しいです。もっと多くの人に鉄道の魅力を知ってもらえるよう頑張りたいですね。

いい写真とは、伝えたいことが明確に分かる写真だと思います。鉄道まわりでも、空や緑、人など多くの要素があります。その中の「主役」を自分なりに見定め、どう目立たせるか考える。シンプルですが、意外と意識していない人が多いですね。また、自分の意図が人にうまく伝わらないこともある。どう見えるかをイメージする「写真相像力」が必要です。

ちなみに、鉄道写真はこの力を磨くのにうってつけです。何しろ構図を考える時には被写体がない。通る列車の長さや位置、光の角度など、たくさんの条件から仕上がりを想像する。鍛えられますよ。

中高生の写真を観て、先生の影響が大き過ぎるのではと思うことがあります。本当に本人が撮りたいもの、撮りたい方法なのかなあと。うまく撮ろうとするより、心から「いい」と思うものを自由に撮る。それが伝わる写真の第一歩です。

中井 精也

Profile

(なかい・せいや)
1967年、東京生まれ。鉄道の車両だけにこだわらず、鉄道に関わるすべてのものを被写体として独自の視点で鉄道を撮影し、「1日1鉄!」や「ゆる鉄」など新しい鉄道写真のジャンルを生み出した。2004年春から毎日1枚必ず鉄道写真を撮影するブログ「1日1鉄!」を継続中。広告、雑誌写真の撮影のほか、講演やテレビ出演など幅広く活動している。株式会社フォート・ナカイ代表。著書・写真集に「1日1鉄!」、「デジタル一眼レフカメラと写真の教科書」[DREAM TRAIN] (インプレス)、「ゆる鉄」(クレオ)などがある。2015年、日本写真協会賞新人賞受賞。
ホームページ:
railman.cocolog-nifty.com/blog/



*絶賛放送中!「中井精也のてつたび」月1回木曜夜7時半より、NHK BSプレミアムにて。WEBで写真を募集中! www.nhk.or.jp/tetsutabi/

FRIENDS' EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、情報コーナー。皆さんの情報提供も待ってるよ!

ニコン フォトカルチャーウィーク [CROSSING]

東京(新宿)・大阪・名古屋でそれぞれ1週間にわたり、様々な公開講座やフォトライブを行ったフォトカルチャーウィーク「CROSSING」。小林紀晴先生、斉藤勝則先生による、トップアイ読者限定のフォトレビューも開催されたよ!

TopEye 写真講座 開催レポート

「集まれ! 高校写真部」

東京 4/12 ニコンプラザ新宿
講師: 小林紀晴先生

【参加校】
神奈川県立瀬谷高等学校
埼玉栄高等学校
東京都立小石川中等教育学校
千葉県立四街道高等学校

ご参加ありがとうございます!!

大阪 5/24

ニコンプラザ大阪
講師: 小林紀晴先生
【参加校】
龍谷大学付属平安高等学校
大阪府立松原高等学校
帝塚山学院高等学校

名古屋 6/6

ニコンプラザ名古屋
講師: 斉藤勝則先生
【参加校】
愛知県立津島高等学校
(6月1日現在)



いろんな人の作品から学べました!
撮影時の考え方が参考になりました!
次回も参加したい!

ショールームで最新カメラもチェック!

先生からヒントたくさん!

写真は引き算。要素を削り、ポイントを絞る!

作品は撮影50%、セレクト50%!

キーワードを決めて被写体を探そう!

みんなの作品に先生がアドバイス!

Seminar REPORT TopEye出張 デジタル写真ゼミ

5/2 10:00~15:00
於: 新潟県・中越高等学校

今回のプログラム

- デジタル一眼レフカメラの使い方
- 基礎講座
・「ブレない撮り方」[露出の基本]「被写界深度」について重点講義!
- 撮影実習
・講義の内容を、D5500で体感!
- 画像編集ソフト「CaptureNX-D」の使い方
・撮った写真をよりきれいに仕上げるツール
- 組写真づくりの考え方

ニコンの写真教室「ニコンカレッジ」の先生が、撮影のコツを講義する人気のゼミ。今回の開講は新潟県。2校の部員さん17名がニコンD5500を手に、見る人の心に迫る写真づくりを学びました!



【参加校】
中越高等学校 / 新潟県立十日町総合高等学校



半日の短いゼミでも、熱意満点!

講義の合間に、日頃の作品にアドバイス!

写真展レポート! 埼玉栄高等学校写真部 第4回校外展 南風堂写真館2015年・春

4/2~4/5 ノースギャラリー (さいたま市北区)

19名の部員の作品約100点を一堂に展示



↑帝塚山学院高写真部の数先生(右)も応援に!

顧問の高橋先生からレポート!
年度の集大成として春に開催する「南風堂写真館」も4回目。地元の方ほか、2月の「TopEye全国高校生写真サミット2015」で知り合った神奈川総合高等学校写真部の皆さん、交流のある全国各地の高校写真部の皆さんなど、約600名をお迎えして大盛況。多くの来場者から質問や激励をいただき、生徒たちもひと回り成長したようです。

写真展Info 福井県立丹生高等学校 3年 鈴木 芯 写真展

7/24(金) ~26(日) 9:00~18:00 福井新聞風の森ギャラリー (入場無料)

「フォトフォトサロン」常連校の部員さんが、個展を開催! 国際問題や人道支援に関心をもつ鈴木くんは、この春にフィリピンを旅行し、貧困地区で働く子どもたちを撮影。この写真展で現地の様子を伝え、今後の活動につなげたいそうです。鈴木君の大きな挑戦、TopEyeも応援します!



鈴木芯くんから一言
自分が見た海外の子どもの現状を、少しでも伝えたいと思っています。お近くの方、関心のある方、ぜひ見に来てください。

お問い合わせは: 福井県立丹生高等学校 (TEL: 0778-34-0027) 写真部顧問 竹内先生まで。

写真展・活動レポートお待ちしてます!

TopEyeでは、全国の中高写真部の活動をドンドン紹介する予定。写真展や撮影会、面白い活動など、編集部までレポートください!

投稿の際には忘れずに!

- ①学校名・クラブ名
- ②顧問名と部長名
- ③学校の住所・電話番号
- ④連絡可能なメールアドレス

宛先

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 201 (株) アドバタイズ TopEye 編集部宛
E-mail: topeye@nikon.com
FAX (03) 5148-0566

*フォトフォトサロン応募の宛先とは異なります。ご注意ください。

INFORMATION

★夏休みは、滋賀県で会おう！

第39回全国高等学校総合文化祭 2015滋賀びわこ総文

7月28日～8月1日

写真部門 大津市民会館・公民館 / 会場 県民交流センター「ピアザ淡海」

年に1度の高校文化部の晴れ舞台、全国高総文祭! もちろんニコンもブースを設けて写真部を応援します。カメラ展示の他、昨年度「フォトフォトサロン」と「写真サミット2015」の上位入賞作品展も! ぜひお越しください!



昨年度の「フォトフォトサロン」と「TopEye 全国高校生写真サミット2015」の優秀作品も一部展示!!



4/30～5/6 ニコンサロン bis 大阪で行われた「2014年度フォトフォトサロン入賞作品展」/「TopEye 全国高校生写真サミット2015 優秀作品展」の様子

←昨年の「いばらき総文2014」の様子

優秀作品をニコンサロンbisに展示!

第39回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展

8/20～26
ニコンサロン bis大阪

9/8～14
ニコンサロン bis新宿

締切迫る!!

第63回ニッコールフォトコンテスト 第4部『U-31』部門 作品募集中!!

7月6日(月) 必着!

応募資格 30歳以下の方 (2015年3月末現在)
大賞賞金 30万円
大賞賞品 ニコンD750レンズキット



フォトフォトサロン審査員の小林紀晴先生も審査員です。

TopEye 配布校 一括応募 制度も!

本誌「TopEye」をお届けしている学校の写真部から、「U-31」部門に一括応募ができますよ!(WEB応募は除く)
詳しくはニッコールクラブ事務局(TEL: 03-6718-3018)まで。

詳しくはWEBで!!

ニッコールフォトコンテスト

検索

注意 TopEyeフォトフォトサロンや他のフォトコンテストへ、二重応募をされませんようご注意ください。(ノミネートを除く)

東北6県の写真部注目!!

第1回「みちのく高校生写真コンテスト」

～高校生アスリートの夏2015～

日刊スポーツ新聞社が、東北6県の高校生を対象に写真コンテストを開催! 高校スポーツの名シーンを、キミたちのカメラアイで捉えてください。入賞作品は日刊スポーツ紙に掲載し、さらに9月、入賞作品15点を含めた30点を「ニコプラザ仙台」に展示いたします。

写真コンテスト

応募締切 8月20日(木) ※消印有効

発表 8月27日(木)付の「日刊スポーツ」東北6県版に入賞作品を掲載

賞 「最優秀賞」(1点)、「優秀賞」(1点)、「入選」(13点)

写真展 入賞作品15点を含めた30点を展示
9月9日(水)～9月29日(火)
「ニコプラザ仙台」コミュニティスペース(入場無料)
9:30～18:00(日・祝休館 最終日は15:00まで)

主催: (株)日刊スポーツ新聞社 写真展協賛: (株)ニコンイメージングジャパン

東北6県の高校・高専にチラシ同封! ご確認ください!



岩手県の高校生対象!

マグダレナ・ソレ写真公募展

岩手県の震災復興と地域振興を目指すNPOが県高文連と協力して、写真公募展を開催! アメリカを拠点に活躍する写真家マグダレナ・ソレさんを審査員に迎え、岩手県の高校生の力作を募集します。

作品テーマ

「食事(mealtime)」(1人2点まで応募可)

応募資格

岩手県高等学校文化連盟に所属する高校写真部員

応募期間

6月1日(月)～10月2日(金)

賞

「大賞」(1点)Nikon J15
「準大賞」(1点)図書カード5000円
「マグダレナ・ソレ賞」(1点)マグダレナ・ソレ サイン入り写真集
「入賞」(3点)図書カード3000円



「大賞」の副賞 Nikon J15

◎大賞、準大賞受賞者は、2016年に開催される「いわてアートプロジェクト2016」レセプションに招待されます。

詳しくは

iwate-art-project.net/

お問い合わせ先

岩手未来機構(担当 島口) TEL: 019-613-7781
事務局携帯 090-1215-0103

Photo 2015年度 Photo SALON

成績中間発表!

入賞作品は1～4ページに掲載

- 1位 宮城県白石工業高等学校 107ポイント
- 2位 和歌山県立神島高等学校 77ポイント
- 3位 愛知県立津島東高等学校 / 大阪府立生野高等学校 / 島根県立松江南高等学校 / 香川県立坂出高等学校 47ポイント

- 7位 沖縄県立浦添工業高等学校 40ポイント
- 8位 北海道札幌工業高等学校 / 新潟県立六日町高等学校 / 福井県立丹生高等学校 / 大阪府立立城高等学校 / 熊本県・八代白百合学園高等学校 27ポイント

- ▶13位(20ポイント) 埼玉県立皆野高等学校 / 東京都・正則高等学校 / 東京都・東亜学園高等学校 / 長崎県・聖和女子学院高等学校 / 宮城県立高鍋高等学校
- ▶18位(7ポイント) 新潟県・中越高等学校 / 茨城県立緑岡高等学校 / 埼玉栄高等学校 / 東京都立小石川中等教育学校 / 静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校 / 広島県立広島商業高等学校 / 島根県立安来高等学校 / 山口県立華陵高等学校 / 山口県立新南陽高等学校

入賞人数が増え、チャンス拡大!

次回締切は

9月10日(木)

当日消印有効

です!!

詳しくは同封の応募用紙を見てね!

TopEye誌面アンケートにご協力ください!

誌面の充実のため、配布校の皆様のご意見をうかがうアンケートを実施しています。同封の回答用紙にご記入のうえ、編集部までFAXでお送りください。



今回のご回答期限

9月10日までに

FAXでお送りください。

ご協力いただいた学校には、TopEyeがファイルできる「オリジナルバインダー」を進呈いたします。

FAX: 03-5148-0566

もちろん進呈



見てね! ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3020